

新宮山彦ぐるーぷ第2175回

日本山岳会有志の「伊勢路探勝会」同行とサポート

◇実施日 4月26日(火) 小雨

4月27日(水) 曇

◇参加者

日本山岳会

大島康弘(静岡支部、島田市)、中野八千代(東海支部、伊勢市)
岡田輝子(関西支部、大阪市)、関口興洋(北九州支部、北九州
市)、大久保勉(青森支部、八戸市)、下畑佐和子(岐阜支部、岐
阜市)、中野雅章(静岡支部、静岡市)、西村しのぶ(静岡支部、
藤沢市) 8名

新宮山彦ぐるーぷ

4月26日 畑林清子、生熊千満子、大江徳子(同行)

畑林秀味、湯川一郎(車回送・サポート)

4月26、27日 沖崎吉信、梶野照雄

熊野修験 中前偉、杉山忠

9名

日本山岳会千葉支部の石岡慎介氏(83歳)は平成21年に大峰
北部を、翌22年には大峰南部を踏破されている。会員15名での
南奥駆の際、当ぐるーぷの6名が行仙宿で接待などの交流を持った。
その後石岡氏は日本山岳会が毎年発行している「山岳」2011年
106号に大峰の山行を投稿されている。

交流時に我々の維持管理活動の話もあったようで、その活動を理解

され高く評価を頂いた。

平成23年と令和3年の2度に渡り日本山岳会秩父宮賞に推薦し
てください、わざわざ拙宅迄遠路足をお運びくださった。

令和4年1月の新十二支会例会に参加され、2度目の顔合わせとな
ったが、体調面に少し不安が感じられた。

ご縁を大事にしたい。また、その後の交流も必要との意向から、有
志を募り「伊勢路探勝会」を企画され、当ぐるーぷにも参加、同行
のお誘いがあった。

今年3月下旬に18名が参加して行おう、とのことであったが石岡氏
の体調不良と、コロナの感染拡大で中止になった。

その後、せっかくの企画を無駄にするに忍びないとの思いで、静
岡支部の大島康弘氏を中心に8名の皆さんが参加して、4月2
5日〜27日に実行することになった。

【4月26日】



尾鷲駅に出迎え



海山道の駅を出発



馬越峠登山口

小雨の降る中を尾鷲駅で合流、8名の皆さんは昨日伊勢市に集まられて一座（朝熊山）を稼いでこられたが疲れも無くお元気だ。挨拶もそこそこに紀北町海山道の駅に移動する。

本日はあいにくの雨で、馬越峠を同行される語り部、井上さんのアドバイスもあり、早めの昼食を道の駅で済ませ、すぐ近くの登山口に向かう。

今回は同行組、車回送組に加えて熊野修験から中前偉、杉山忠の二行者が鈴懸に結袈裟、頭襟の行者装束で参加された。



濡れたた石畳を登る

馬越峠で

天狗倉山を遥拝して勤行

出立の法螺の音が響く中、いよいよ歩き始める。車回送組も途中まで同行。久々の馬越峠だが、コースの殆どが自然石の石畳で、雨に濡れた石が良く滑る。皆さん慎重に歩を進める。

このお天気なので当初予定していた天狗倉山へのピストンが取りやめになったため車回送組は途中から引き返した。梶野君だけが馬越峠まで同行した。登山口に下山し、尾鷲市側の馬越公園に車で向

かった。



馬越峠から下山

介護仕様の畑林車

松本峠に到着

天狗倉山に行かなかったので早く降りてくると思っていたが、10分、20分と待っても姿は見えない。徳子ちゃんに電話すると「女性1名が峠でつまずき転倒、足を痛めたためもう少し時間が掛かる」とのことだった。暫くして先頭の姿が見えて順次下山。最後に山岳会の下畑さんが二人の行者と大久保さんに付き添われてゆっくりと降りてきた。歩き方からかなり痛そうに見えた。

下畑さんは早期の診断が必要で、尾鷲総合病院へ行くか救急車をよぶか、との話もあったが畑林秀味君から、今日は平日なので熊野市のクリニックがベターじゃないか、とアドバイスがあり、徳子ちゃんがすぐに電話で症状などを説明し診察可のお答えを頂いた。

語り部の井上さんとはここでお別れし、松本峠のパーキングに移動。畑林車に下畑さんに乗せ徳子ちゃん付き添いでクリニックに向かった。畑林車の助手席が看護仕様となっていたことにビックリした。

残りの12人が松本峠へ向かう。松本峠も距離は短い、石畳みもきれいでよく整備されている。峠の六尺地藏や展望台からの七里御浜の眺めに山岳会の皆さんは満足されたようだ。



松本峠で

熊野市のクリニック

紀南荘に到着

松本峠を下山し、クリニックに向かう。到着時には処置が終わっていた。やはり骨折していて、ギブス装着。ご本人もレントゲン写真で確認されたようだ。

全員で今日の宿舎がある熊野駅前に向かい、山岳会8名と沖崎、梶野の2名を残し、畑林車、湯川車は新宮に戻った。

中前、杉山の行者さん、ありがとうございました。他の皆さんもお疲れ様でした。畑林君の車にも大変助けて頂きました。

午後5時半過ぎに宿舎の紀南荘に入る。夕食の前に沖崎より山彦の事や大峰の事に着いて20分ほど話をさせて頂いた。その後乾杯、開宴となる。今回参加された皆さんは、西は北九州市、北は青森県八戸市からと、遠方からの方がおられそのキャリアも我々の比では

なく有意義なお話しをお聞きすることが出来た。



畑林、湯川車とお別れ 山彦、大峰について話す

乾杯で開宴

滑りやすい石畳みを一日歩かれ、お疲れもあるようなので午後8時半にお開きになった。

行動タイム

尾鷲駅10:48→10:42海山道の駅11:35→11:45馬越峠登山口→12:55馬越峠→14:58馬越公園→15:56松本峠パーキング→16:04松本峠登山口登山口→16:30松本峠→17:36紀南荘

【4月27日】

午前8時に宿を出て獅子岩に立ち寄る。次に花の窟に向かう。花の窟(花窟神社)は日本最古の神社と言われて、社殿などは無く高さ45mの巨岩をご神体としている。伊弉册尊(イザナミノミコト)

の墓所として日本書紀にも記されている神秘的な場所だ。



花の窟



速玉大社



神倉神社に向かう

花の窟を後にして新宮に向かう。速玉大社に参拝し神倉神社に詣でる。新宮駅近くで昼食を取り、新宮駅で山岳会の皆さんとお別れした。

今回の実施にあたり一週間前の天気予報では、かなりの雨量が予想されていた。大島さんも直前までヤキモキされていただろう。予報は良い方に外れたようで、馬越峠のみ小雨で松本峠以後は降らなかったことは幸いだった。

山岳会の皆さんは、行者さんと一緒に歩く事が無かったようで、初体験を大変喜んでいただいた。

紀伊半島の端で活動している我々は井の中の蛙だ。中央の方々の交流は有益である。努めて広く、多くの人達と交流したい。今後機会があれば、また是非参加協力をお願いしたい。

(記：沖崎)



神倉神社に参拝



新宮駅近くで昼食



新宮駅で別れる

行動タイム

紀南荘 08:00→08:12 獅子岩→08:20 花の窟→09:00 速玉大社
10:00 神倉神社→11:18 昼食→12:00 新宮駅